
相模原市汚水ポンプ場設備管理システム導入委託
落札者決定基準

令和8年4月
相模原市

1 落札者決定基準の位置付け

この落札者決定基準は、入札参加者から提出される入札書及び提案書を評価し、落札者を決定するに当たって、最も優れた提案者を選定するための方法、評価基準等を示したものである。

2 落札者

- (1) 1,000 点満点(技術点 850 点及び価格点 150 点)で評価し、技術点と価格点を合計した「評価値」が最も高い者を落札者とする。
- (2) 評価値の最も高い者が 2 者以上いる場合は、技術点の最も高い者を落札者とする。
- (3) (2)に該当する者が 2 者以上いる場合は、「技術評価点採点基準」項番 4 の配点合計が最も高い者を落札者とする。
- (4) (3)に該当する者が 2 者以上いる場合は、当該者のくじ引きにより落札者を決定する。

3 失格基準

- (1) 「技術評価点採点基準」の「提案を求める事項」について、一つでも未記載の項目がある場合には、失格とする。
- (2) 「技術評価点採点基準」の項番 4(1)について、要件が「必須」となっている項目に「×(対応不可)」又は「空欄」がある場合には、失格とする。なお、要件が「任意」となっている項目については、「×(対応不可)」又は「空欄」がある場合でも失格とはならないが、加点対象にしない(0 点)ものとする。
- (3) 技術点(850 点)が 4 割(340 点)未満の場合には、失格とする。

4 技術点(850 点)

- (1) 技術点は 850 点満点とし、「技術評価点」(700 点)と「提案価格評価点」(150 点)の合計とする。
- (2) 「技術評価点」は、「技術評価点採点基準」における「提案評価の観点」の内容に応じて、「配点」欄の点を最大値として配点する。
- (3) 「提案価格評価点」は、要求仕様書「別紙 2 保守等経費参考見積書」により提出された金額について、入札参加者それぞれの保守等経費参考見積額と、失格者を除く入札参加者の中で最低となった保守等経費参考見積額を、次式に代入して算出する。

ただし、それぞれの入札参加者が提出する保守等経費参考見積額は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるかを問わず、本稼働中(60 ヶ月)の総額とする。

$$\text{提案価格評価点} = 150 \text{ 点} \times \frac{\text{入札参加者の中で最低となった保守等経費参考見積額} \times}{\text{保守等経費参考見積額}}$$

※失格者を除く

5 価格点(150点)

価格点は、入札参加者それぞれの入札価格と、失格者を除く入札参加者の中で最低となった入札価格を次式に代入して算出する。ただし、入札価格が本件の予定価格等の制限の範囲を超えている場合は落札者とししない。

$$\text{価格点} = 150 \text{ 点} \times \frac{\text{入札参加者の中で最低となった入札価格※}}{\text{入札価格}}$$

※失格者を除く

6 その他

- (1) 点数については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位表示とする。
- (2) 「技術評価点採点基準」の「提案を求める事項」について、0点と評価された項目があった場合でも、上記「3 失格基準」の要件に該当がなければ失格とししない。

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
1 目的及び調達要件			140
(1) 事業目的	相模原市污水ポンプ場設備管理システム導入委託の目的である、『本市の污水ポンプ場における設備情報や維持管理情報を一元化し、污水ポンプ場施設の適切な維持管理を図り、更にストックマネジメントを効率的・効果的に実施すること』、について貴社の考え方及び対応内容について具体的に記載すること。	(仕様書：2) 本市が示した左記の目的を達成できるか、それ以上の効果が期待できるか、具体的は方針が記載されているかどうかを評価する。	30
(2) システム構成及びソフトウェア	提案するシステム構成及びパッケージソフトウェアの概略（対象とする業務範囲・開発コンセプト・その他の特徴）と、当該パッケージソフト適用にあたってのメリットを具体的に記載すること。	(仕様書：4(4)(5)) 本システムに求める機能要件や性能要件を満たし、また、パッケージソフト適用によるメリットの数や有益性について評価する。	30
(3) 運用実績	貴社のパッケージソフトウェアを人口20万人以上の自治体へ導入した実績を全て記載すること。	(仕様書：4(5)) パッケージソフトウェアの導入実績を評価する。	20
(4) 運用・保守計画	仕様書「別紙3 運用・保守委託 業務内容及び仕様(案)」の内容を踏まえ、本システムの運用・保守体制について具体的に記載すること。	(仕様書：4(6)) 次の観点について評価する。 ア 運用・保守体制のメンバー構成 イ 連絡体制 ウ 運用・保守サービス提供時間帯と内容 エ 市と保守事業者の役割分担 オ 不測の事態が生じた場合の後方支援体制	30

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
(5) 障害対応	システム障害への対応について、以下に示す観点から整理の上、記載すること。なお、④については、障害発生時間帯別（運用保守サービス提供時間内・時間外）に分けて記載すること。 ①発生の恐れのある障害 ②①の障害発生による影響 ③障害発生を未然に防止するための対策 ④障害発生時の体制、手法、復旧目安時間	（仕様書：4(6)） 想定される障害や影響が具体的に記載されており、未然防止のための対策の数や有効性、また、体制の堅実性について評価する。	30
2 研修要件			20
(1) 管理者研修	管理者（主に市職員）への研修方法、カリキュラム、及びマニュアル等について、内容やサンプルイメージを具体的に記載すること。併せて研修の質や効果を高める方策について記載すること。	（仕様書：5(2)） 管理者限定機能や各種設定、及び障害発生時の対応など、システム管理者としての具体的な場面を想定した内容、かつ、市職員の業務をイメージした内容が提案されているかどうかについて評価する。また、研修の質や効果を高める方策の数、及び具体的に提案されているかを評価する。	10
(2) ユーザ研修	ユーザ（主にポンプ場維持管理業者）への研修方法、カリキュラム、及びマニュアル等について、内容やサンプルイメージを具体的に記載すること。併せて研修の質や効果を高める方策について記載すること。	（仕様書：5(2)） ユーザの業務をイメージし、具体的な場面を想定した内容が提案されているかどうかについて評価する。また、研修の質や効果を高める方策の数、及び具体的に提案されているかを評価する。	10
3 スケジュール及び開発等要件			90
(1) スケジュール	本委託業務の全体スケジュールを示し、スケジュール作成に当たっての留意点や、遅延要因となるリスク事項とその対策を記載すること。	（仕様書：6） 次の観点について評価する。 ア 全体スケジュールの内容 イ スケジュール作成に当たっての留意点や、スケジュールを厳守する上で のリスク事項とその対策	30

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
(2) 管理技術者	管理技術者（プロジェクト管理責任者）のプロフィール（類似業務実績や保有資格等）、想定される本業務への従事比率について記載すること。 類似実績については、導入先の人口規模や時期なども記載すること。	（仕様書：7(1)） 次の観点について評価する。 ア 管理技術者の類似業務実績と当該経験を本業務にどのように活用するかが記載されているか。 イ 管理技術者の本業務に対する従事比率 【プレゼンテーションにて確認】 ウ プレゼンテーションの説明が分かりやすく、質疑における対応も的確である等、マネジメント能力が高いと判断できるか。	10
(3) 実施体制	開発チームの体制、役割分担、作業拠点及び本市との連絡体制について記載すること。	（仕様書：7(1)） 次の観点について評価する。 ア 開発チームの組織及びメンバー構成、役割分担 イ 品質管理体制 ウ 作業拠点及び本市との連絡体制	25
(4) 開発から導入・引渡しまでの工程	要件定義、基本設計、詳細設計、製造、各種テスト等、開発から導入・引渡しに係るまでの工程を詳細に記載すること。また、各工程における成果物の品質チェック方法についても記載すること。	（仕様書：7(2)） 次の観点について評価する。 ア 各工程の手順や作業、役割分担が記載されているか。 イ クリティカルパス（プロジェクトの全工程を最短時間で完了するために重要な作業経路）を意識した矛盾の無い工程であるかどうか。 ウ 成果物の品質チェック方法について、適切な方法が具体的に記載されているか。	25

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
4 機能要件			260
(1) 機能要件 全般	仕様書「別紙4 機能要件一覧」に示す全ての業務機能について、本市要求事項への対応内容を記載すること。	(仕様書：9(1)) 仕様書「別紙4 機能要件一覧」を用いて、本市の要求事項を満たした提案となっているかを評価する。なお、「必須」とした機能については、「×」または空欄が存在した時点で、本技術提案は無効(失格)とする。	200
(2) 機能要件 (台帳管理)	「施設管理機能」及び「設備管理機能」など（仕様書「別紙4 機能要件一覧 機能2, 3, 7」）、污水ポンプ場設備の台帳管理において、貴社パッケージソフトウェアにおける特徴について記載すること。また、本市職員の業務負担軽減や業務効率化に寄与する機能上の工夫点についても記載すること。	(仕様書：9(1)) 特筆すべき点や独自の工夫点、他システムとの違いなど、特徴の数や内容が具体的に記載されているかについて評価する。なお、説明に当たっては、デモンストレーションを行うことも可とする。	20
(3) 機能要件 (維持管理)	「故障情報管理機能」及び「点検管理機能」、「調査管理機能」など（仕様書「別紙4 機能要件一覧 機能4, 5, 6, 9, 10」）、污水ポンプ場設備の維持管理情報の管理において、貴社パッケージソフトウェアにおける特徴について記載すること。また、本市職員の業務負担軽減や業務効率化に寄与する機能上の工夫点についても記載すること。	(仕様書：9(1)) 特筆すべき点や独自の工夫点、他システムとの違いなど、特徴の数や内容が具体的に記載されているかについて評価する。なお、説明に当たっては、デモンストレーションを行うことも可とする。	20

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
(4) 機能要件 (計画管理)	「長期シナリオ支援機能」及び「短期更新計画機能」など（仕様書「別紙4 機能要件一覧 機能11, 12」）、污水ポンプ場設備の計画管理について、貴社パッケージソフトウェアにおける特徴について記載すること。また、本市職員の業務負担軽減や業務効率化に寄与する機能上の工夫点についても記載すること。	（仕様書：9(1)） 特筆すべき点や独自の工夫点、他システムとの違いなど、特徴の数や内容が具体的に記載されているかについて評価する。なお、説明に当たっては、デモンストレーションを行うことも可とする。	20
5 非機能要件			100
(1) 性能要件 (パフォーマンス要件)	システムのパフォーマンスが低下し、良好なレスポンスが確保できなくなった場合の対応について記載すること。また、良好なレスポンスを確保するためのシステム上の工夫点と、標準作業における目標レスポンス時間(画面でイベントを発生させ、その結果を受け取るまでの時間で単位は「秒」とする。)も併せて記載すること。	（仕様書：9(2)） 次の観点について評価する。 ア 良好なレスポンスが確保できなくなった場合の対応方法 イ レスポンス確保のための工夫点 ウ 目標とするレスポンス時間(秒)	20
(2) 性能要件 (操作性要件)	本システムは専門的知識の有無や年齢、職位等を問わず様々な市職員が操作することとなるため、ユーザインタフェース等は、誰でも簡単に操作が理解できるものでなければならない。この点を踏まえ、貴社のパッケージソフトウェアでの操作性について、工夫していることを記載すること。	（仕様書：9(2)） 左記の内容が具体的に示されており、初めて操作する利用者と操作に慣れた利用者のどちらにとっても使い勝手がよいと判断できるかについて評価する。なお、説明に当たっては、デモンストレーションを行うことも可とする。	20
(3) セキュリティ要件	情報セキュリティに係る全般的な技術対策、物理対策、人的対策について、以下の項目を踏まえた考え方を記載すること。 ①本システムの情報セキュリティ上、想定される脅威 ②①の脅威により事故等が発生した場合に起こる影響 ③脅威に対する脆弱性を排除するための対策方針、及び、セキュリティ対策にかかるコストと作業負担も考慮した具体的対応策	（仕様書：9(4)） 左記内容について、具体的な提案が記載されているか評価する。	30

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
(4) セキュリティ要件 （バックアップ）	バックアップ処理について、その手法や保管場所・媒体等について記載すること。あわせて、目標復旧時点と目標復旧時間についても記載すること。	（仕様書：9(4)） 左記内容について、具体的な提案が記載されているか評価する。	30
6 データセットアップ			40
(1) データセットアップ	データセットアップの方法及び作業内容について記載すること。また、今後、システムを運用する上で、データ品質の確保のための対応策や、利用者によるデータ登録・更新作業において、登録漏れや不具合等が生じないような機能上の工夫点や、負担軽減や作業効率化に寄与する機能上の工夫点についても記載すること。	（仕様書：10(1)） 左記内容について、具体的な内容が記載されているか評価する。	25
(2) 本稼働終了後のデータ移行	本システム稼働終了時の次期システムへのデータの提供方法について記載すること。また、データ抽出作業の簡略化に向けた具体的な対応策についても記載すること。	（仕様書：10(2)） 次期システムへの移行と業務の継続に支障がないような方策が提案されているか評価する。	15

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
7 その他			50
(1) その他	<p>その他、本市にとって有効な機能、運用方法、最新技術の導入として本市の要求事項を上回る追加提案があれば記載すること。（ただし、追加費用が必要な提案は記載しないこと。） （5提案まで）</p>	<p>今までの「提案を求める事項」の内容以外で、提案内容全体（提案書に対する質問回答、プレゼンテーション回答を含む。）において、機能・運用方法等が実施内容、手順、想定効果を含めて具体的に記載されており、本市にとって有効であると判断できるか評価する。</p>	50